

(端裏書)

「大谷九右衛門殿

牛尾金右衛門」

頃日者江府二而

殿様江御目見之

年号月日御參覲

御交代之節被

仰付候次第書付之趣

令承知候、將又

興禪院様御代以來

其方先祖又者村川

市兵衛大谷藤兵衛

宮本助右衛門惣而年寄役

相勤申候者共之内

於御当地

御目見被仰付候

旧例共有之候哉、左様

之儀茂候八、年号

月日等二而も具二書付

一兩日之内持參可有之候

此旨為可申入如此候

以上

八月朔日